

ひとなる

発行：白川町教育委員会
—「白川を愛し、たくましく心の
あったかい子を育む美濃白川」—

一人一人が精一杯取り組み やいきた運動会・体育祭

9月中旬から10月中旬にかけ、多くの保育園、小中学校で運動会・体育大会が行われました。園児が先生と一緒にダンスをする姿、力いっぱい走りきる姿、小中学校では、指先までそろったソーラン節、スムーズなバトンパスのリレー、応援リーダーを中心とした熱のこもった応援、学校独自の取組である一輪車等を見ることができました。また、放送や器具などの係活動において、児童生徒が中心となって、会・大会がスムーズに進むように役割を果たしきる姿がありました。佐見小学校では、白川中学校のボランティアの生徒も地域の方々と一緒になって運動会を楽しむことができました。それぞれの場で、一人一人が自分のすべきことを進んでやりきれました。今回は、運動を通しての一体感を味わいました。これからも、一つのことにみんなで取り組むよさを、いろいろな場で感じてほしいものです。



白川保…いよいよスタート。頑張ります!!



光の子保…フラフープを使っての遊戯です。



白北保…保護者の皆さんと一緒に競技しました。



蘇原保…最後の運動会 お客さんいっぱい。でも、全部楽しかった!



黒川保…鼓笛隊です。ポーズを決めてハイチーズ!!



佐見保…みんなで一緒に頑張るって楽しいよ!!



白小…係活動をきちんと行いスムーズな進行でした。



黒小…仲間の頑張りにエールを送ります。



蘇原小…地域の伝統「杵振り」を取り入れました。



佐見小…高学年の息のそろった動きです。

黒川中…学年ごとに分かれて競い合います。『黒中応援舞(黒中オーエン)』も指先までそろえることに気を付けました。

小中学校では、競技内容や運営の仕方(環境整備を含む)について、教師が決めたり、昨年度、実施したことをそのまま行ったりするのではなく、「自分たちの願い」の実現に向けて、どんな競技にすればよいのか(最終的には昨年度と同じになっても…)、どんなことをすればよいのか(グラウンドの草取りも自主的に実施等)等、自分たちで考え、相談しながら、取り組む姿がありました。黒川中学校の閉会式での生徒代表挨拶は、事前に考えておいた原稿通りではなく、競技を通して感じたこと、仲間への感謝等を自分の言葉で語る姿が見られました。体だけでなく、頭や心も精一杯働かせた運動会・体育大会が各学校で行われました。

命のふれあい講座

町内の中学校3年生を対象に、「命のふれあい講座」が行われました。これから大人になる子供たちが、妊婦体験や産道体験をしたり、出産体験を聴いたり、未満児との交流をしたりしました。また、黒川中では、妊婦さんのおなかの中の赤ちゃんの心音を聞くこともできました。命とどう向き合うか、立ち止まって考えることができました。



【講座を受けた生徒の振り返りから】

今日の講座を通して、普段あまり体験できないようなことや助産師さんや子育て中の親さんなどからいろいろな話をしてくださりありがたかったです。僕が印象に残ったことは、妊婦体験や最後の話し合いです。妊婦体験では、何kgもの重さの重りを体に付け、階段を上ったり、寝転んだりしました。「本当に大変だあ」ということが分かりました。最後の話し合いでは、命を授かる、つなげるということについての思いや考えを、改めて知ることができました。僕も、将来子どもをもつことになった時には、自分の意志だけでなく、子どもやパートナーの気持ちを尊重したり、相手のことを考えたりした行動ができるようにしたいです。

今日ここで学んだことを踏まえ、支えてくれている人に感謝してこれからも生活していきたいです。

11月の子どもたちの主な行事

- 11月1日(金) 黒川小 修学旅行(10月31日から) 蘇原小 修学旅行は2日(土)まで
- 11月6日(水) 加茂郡中学校音楽会 → 白川町町民会館グロリアホールで行われます。
- 11月7日(木) 白川中公表会 → 日頃の授業の様子を主に町内の先生方に見てもらいます。
- 11月22日(金) 白川小公表会 → 日頃の授業の様子を主に町内の先生方に見てもらいます。